

平成30年第3回議会定例会大綱説明及び行政報告

(H30, 9, 6)

本日は、平成30年第3回町議会定例会をお願いいたしましたところ、議員各位におかれましては、ご出席をいただき誠にありがとうございます。提出いたしました議案のご審議に先立ち、6月議会定例会以降の町政の取り組み状況等につきまして、ご報告等をさせていただきます。

国の2019年度の予算案の編成作業が本格的に始まり、各省庁の概算要求が出そろい、一般会計の要求総額は5年連続で100兆円を超え、年末に決まる当初予算も初めて100兆円を突破する可能性があるとの報道もされています。また、いよいよ消費税率10%へ引き上げられ、ねん出した財源をもとに、政府は幼児教育・高等教育の無償化や待機児童の解消、介護人材の処遇改善などを盛り込んだ新たな経済政策パッケージ「人づくり革命」を実行する方針を示しており、詳細は年末までに詰め、経費や事務作業の負担配分をめぐり、地方も巻き込んで激しい議論がなされるようであります。我々もしっかりと情報収集に努め、制度を理解の上で財源確保を図ってまい

りたいと考えます。また、来年度の事業要望につきましても、国県等へ要望活動を積極的に進めてまいります。

この9月11日には、愛知県各部局等への総合要望を町執行部と議会との合同で実施させていただきます。そのほかにも要望活動はございますので、議員各位におかれましても、それぞれのお立場でご協力くださるようお願い申し上げます。

今年度で計画が終了する予定でありました森と緑づくり税事業につきましては、7月4日に愛知県知事にお会いして継続要望をしたところでございますが、すでに皆様方もご承知のことと思っておりますが、引き続き事業継続していただくことが決定されました。また、森林環境税につきましては、平成36年度からの課税となりますが、平成31年度からは森林環境譲与税として、国から譲与されることとなっております。額や内容はまだ決まっていませんが、しっかりと準備を進めていかなくてはならないと考えています。

さて、東栄町においても、新年度の予算編成を含め、平成31年度からの次期3か年実施計画の策定に向け、各課のヒヤリングを実施するなど準備を進めていますが、年内の取りまとめを目指しているところであります。

そして、総合計画戦力会議を今月26日に開催します。会議において、町民等の意見もいただきながら協議を進めていくこととしています。前計画の検証も行い、次期計画の協議検討を行ってまいります。

役場業務においては、9月で上半期が終了しますので、課長、課長補佐、係長等の出席のもと8月20日から順次、各課調整会議を開催し、課の状況把握と事業進捗などを確認し、課題や今後の進め方など意見交換をしたところであります。

新規採用職員の一泊研修を8月22日に行いました。まずは町を知ることから、町内全域を回り、主要施設や工事の現場、将来事業が行われる場所などを視察し、知識を深めていただきました。

山村問題懇談会が、今年は東栄町で8月10日に開催されました。三河山間地域（岡崎市・豊田市・新城市・設楽町・東栄町・豊根村）の首長と大村愛知県知事はじめ県幹部、山村離島振興連盟の県会議員の皆様にご出席いただき、「地域資源を活かした地域振興について」をテーマにこの地域での取り組みや課題について意見交換を行いました。交通網の整備の重要性や木材利用の推進など、多くの項目について意見を交わしました。

9月26日に企業懇談会を開催する予定をしていますが、その前段としてタイガーサッシュさん、大高精工さんへ訪問させていただき、社長さんとの面談をさせていただきました。長年この地で操業されていますので、会社の現状など短い時間ではありましたが、意見交換をさせていただきました。しっかりと受け止めさせていただき、行政としてお手伝いできることなど検討してまいりたいと考えます。

公明党の新妻先生をはじめとする国会議員、県会議員、県内の市議会議員の先生方が、昨年引き続き、地方創生推進本部・夏のキャンペーン第二弾として、この奥三河地域にお越しいただきました。東栄町には8月31日、9月1日の日程でありました。千代姫荘にお泊りいただきましたので、私もお邪魔して懇談させていただきました。せっかくの機会でしたので、この地域の実情をお伝えし意見交換させていただきました。そして、翌日は、議長、副議長と共に住民懇談会にも参加させていただきました。多くの住民の方や町会議員の一部の方もお見えでしたが、意見や要望が数多く出され有意義な懇談会ができました。こうした機会を活かして、さらに今後もお力添えをいただけるものと思います。

道路関係につきましては、三遠南信自動車道東栄 IC から佐久間 IC がいよいよ今年度開通の運びとなりましたので、開通イベントの関連予算を本議会に補正予算として計上させていただいています。そして、三輪深谷地区で行われています 3 号トンネルの工事も、交通車両の運行など住民の皆様方には大変ご協力をいただいているところですが、順調に進んでいるとお聞きしています。一刻も早い完成ができるよう全力で応援をしてみたいと思います。今後も安全対策はしっかりと取り組んでいただくようお願いしてまいります。

全協の折にもお伝えしましたが、10月2日に議会・区長会合同で視察研修を予定していますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

本年度において、これから工事が始まる箇所についてではありますが、東栄駅北交差点の国道151号歩道整備は昨年引き続き行われます。そして、国道473号下田椿橋付近の待避所整備、県代行事業の町道本郷下川農免線改良工事もまもなく始まる予定となっています。三輪下奈根地区・河内入り口の法面災害復旧工事も現在工事を行っていますが、災害復旧工事については、しっかりと対応してまいります。

それでは、課ごとに主なものをご報告させていただきます。

最初に総務課関係であります。防災につきましては、9月2日の日曜日に防災訓練を実施しました。住民の防災意識の向上と自主防災会の防災力の向上と各機関及び各団体との連携強化を図り、災害に強い地域を作ることを目的に行いました。多くの方にご参加いただきました。各避難時への避難者は1,524名でした。今年度は安全行動訓練（シェイクアウト後の避難所への避難訓練）、無線通信訓練（アマチュア無線と新たにIP無線による無線更新訓練）、避難所立ち上げ訓練、物資の搬送・受入訓練を行いました。その後、役場職員は新城消防東栄分署職員の指導により、応急手当訓練を実施しました。身近なものを使って傷の手当てや毛布を使って搬送などの訓練を実施しました。

今年度から町内で防災士の育成を図ってまいりたいと考えています。参加者を現在募集していますので、議員の皆さんも是非ご参加いただければと思います。対象は住民（自主防災会）、消防団、役場職員、各種団体などです。

次にアナログからデジタル化の変更による防災行政無線整備についてですが、まもなく実施設計に取り掛かり、今年度中に実施設計を

終え、来年度から整備を行う予定となっています。

振興課関係については、昨年4月1日に設立した東栄町観光まちづくり協会も2年目に入りました。会員数も176名となっており、目標の200名を目指して増強を図ってまいります。東栄町グルメガイドブック作成については11月の東栄フェスティバルに配布できるように進めています。地域観光ボランティアガイド育成事業においても、花祭りでガイド開始ができるよう取り組んでいます。

協会職員が1名退職したため、新たに9月から1名を雇用しましたので、ご承知おきください。

町内の若者たちによる実行委員会で進めています今年の星空おんがく祭については、9月22日の開催でありますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。山の日イベントにつきましても、月をまたがったの計画ですが、一つ一つのイベントは順調に行ってきていますので、残すイベントも少なくなっておりますが、しっかりと取り組んでまいります。

次に、以前議会に報告をさせていただいておりますFエナジーによるバイオマスメタンガス発電施設の計画については、事前協議の段階に変わりはありませんが、農振地域での建設であることや西園

目地区の反対要望もありますので、今後もしっかりとした対応の上で、慎重な取り扱いをしていきたいと考えています。

北設楽郡公共交通活性化協議会東栄町分会を8月30日に開催しました。31年度以降の次期計画の作成もありますので、今後の取り組みについて協議いただきました。また、古戸地区から安全性の確保に伴う、下古戸バス停の位置の変更要望については、委員全員の賛成をいただきましたので、JR飯田線の改正に合わせて(平成31年3月)変更できるよう準備を進めてまいります。

次に地域支援課の空き家対策についてですが、空き家改修の補助金(補助限度額50万円)についても、今年度は現在5件の申請があったところであります。

平成24年から始まった定住促進空き家活用住宅で整備してきた13戸に約50名の方々(出生を含む)が移住していただいています。また、空き家バンクの活用による移住者も平成29年度は10件の売買や賃貸が成立しています。本年度も現在所有者の方と交渉をされている物件がありますので、行政としてもしっかりとサポートしてまいります。

10月13日には、移住者交流会の開催を予定しています。移住者

同士の交流や行政との意見交換などを行う予定です。

空き家バンクについては、本年度、各地区の巡回調査を進めています。三輪地区を残し、他の地域は調査が終了していますので、取りまとめの上で、所有者への聞き取りなどを行い、移住希望者とのマッチングできるよう取り組んでまいります。

譲渡型分譲住宅についても、色々な方法で、引き続き募集を行ってまいります。

次にふるさと応援隊についてであります。平成29年1月から募集を始めておりますが、平成30年3月末現在で40名の方に登録いただき、応援の仕方はそれぞれ違いますが、応援をいただいているところであります。

集落支援につきましては、本年度から足込地区において、地域支援員を配置し取り組みをしていただいています。まだ途中ではありますが、1年かけての取り組み成果をほかでも生かせるようその取り組みに期待しているところであります。また、他の地域においても、中設楽地区の環境対策としての看板設置事業や本郷地区の弘法山の整備、キラリ下川の活動、古戸ひじり会はじめ、それぞれの地域や団体が自主的に活動し、地域の活性化に努めていただいています。

住民福祉課関係ですが、役場倉庫火災によるPCBを含む残渣処理を行わなければならない訳ですが、中田クリーンセンターへの持ち込みができず、産廃として処分しなければなりません。高濃度PCB廃棄物はじめとする処分運搬費用が約1,450万円掛かるため、今議会で予算をお願いしています。この処理が終わった後、資源ごみ集積場の修繕工事を行います。

次に保育園についてであります。平成31年4月の新保育園の開園に向け、7月30日に建設工事の起工式を行い、8月から工事に着手いたしました。開園に向け、しっかりと準備を進めてまいります。保育サービス（延長保育など）の充実を図るため、保育士の確保も行ってまいります。また、国の方針でもあります保育料の無償化（H31.10～）についても対応を考えながら、現在の保育料の見直しも含め検討してまいりたいと思います。

放課後児童クラブや子育て支援センターの運営についても、人材も含め充実できるよう検討をしてまいります。シルバー人材センター等の活用も視野に入れて補助的サポートをお願いしていくことも必要であると考えています。

おいでん家（高齢者等生活支援拠点施設）については、各地区12

か所で地区支援員の皆さんを中心に活動をしていただいています。
以前からお話をさせていただいているとおり、地域包括ケアシステムにおいても、地域の拠点施設として、重要な役割がありますので、今後もしっかりと協議を進めてまいりたいと思います。

緑風園については、生活支援ハウスとして自立した高齢者の一時預かりとして運営しています。10部屋のうち7部屋は長期利用者となっており、明峰福社会に委託して運営しています。今後は町全体の役割としての在り方を議論した上で、利用を考えていく必要があると考えています。

病院関係も含めてですが、東栄町医療センター等調整会議については、9月4日の議会全員協議会において報告させていただいたとおりではありますが、7月27日の第1回調整会議で、入院に代わる代替機能の施設を含め、基本構想でまとめきれなかった部分を中心に内部協議を始めました。既に2回目を8月10日、3回目を24日に開催しております。更には研修会を9月1日開催し、豊川市から大石先生を講師に迎え、勉強会をしたところであります。今後はなるべく早い段階で計画原案をまとめて議会に諮ってまいりますので、よろしく申し上げます。議会全員協議会でも説明させていただきました

が、計画スケジュールを変更し、医療センター開所目標を1年延ばし、平成33年10月とすることとしました。引き続き着実に取り組みを進めてまいりますので、共に議論をお願いしたいと存じます。

引き続き、現東栄病院についてであります。4月から公設公営に戻り、ここまで運営をしてきましたが、経営状況は非常に厳しい状況であります。4月から6月までの第一四半期においては、外来も減少、入院は大きく減少し、医業収益は前年比約18%の落ち込みであります。当初予定していました一般会計からの繰り入れも、このままの状況では、3億円を超える見込みであります。

また、美和子先生が8月31日を持って正規の医師を退職し、9月1日から丹羽院長と同じ嘱託医師となりました。そして、日赤からの派遣医師がなくなり、当直医がいなくなることから、3名での対応から医師2名での対応となり負担がかかるため、新城市民病院に応援要請をお願いしたところであります。

看護師においても退職者や産休職員などもあり、13対1の看護体制も危ぶまれるため、今後の対策が必要であります。本年度は病院として運営をしてまいりますが、来年4月からは、診療所（有床）体制としての検討を、年内にはまとめたいと思っています。

最後にせせらぎ会の解散により、清算事務を進めてまいりましたが、町からの出えん金3億円（せせらぎ会の資本金）ですが、清算後約1億4千5百万円が清算金としてでましたので、8月31日に町に入金していただきました。

経済課関係については、新たな獣害対策実証実験として三輪沢上地区と振草小林下新畑地区の畑に柵を設置して実験をしていますが、三輪については被害もなく、順調に作物の収穫できているようです。一方、振草は管理の徹底に問題があるようでしたので、管理の徹底を図り再度実験を試みて、最終結果をまとめて来年度につなげていきたいと考えているところであります。

千代姫コテージの新たな使用方法について模索をしていますが、現在のところ利用者の応募はありませんでした。今後もいろいろな場面で応募を呼び掛けてまいりたいと思っています。

冒頭でもお話しましたが、あいち森と緑づくり事業の2期目の実施が決定しましたので、森林組合とも協議の上、来年度からの実施に向けて候補地の調査を進めてまいります。

今年度から鮎の買取と販売事業を漁業がはじめたところであります。買取・販売ともに順調に推移をしています。友釣り客も増加し、

鮎瀬の販売もほぼ前年並みであったとお聞きしているところであります。利き鮎大会のグランプリ連覇に向けて7月にエントリーをしていますので、朗報を心待ちにしています。JA東栄直売所での販売の流れができていますが、商工会中心でありますので今後しっかり検討をしていかなければならないと感じています。また、各飲食店でのアユ料理も大変好評であったため、鮎のストックがなくなるという状況となり、8月で終了するところもでてまいりました。このことも踏まえ、今後漁協とも対応策を検討してまいります。

平成27年度からスタートした移動販売事業については、平成29年度から愛知県の補助金を活用して、現在61か所を巡回し、高齢者等を中心に利用していただいています。12月で本郷にありますスーパーが閉店されると聞いていますので、ますます移動販売の必要性が問われるものと考えています。

商工会青年部が主催して行われる婚活イベント「イイ恋見つけようIN東栄町」が10月27日に開催されます。これまで5組の男女が結婚に至っていますので、今回もカップル誕生に期待したいところであります。しっかり応援してまいりたいと思います。

とうえい温泉につきましては、老朽化による修繕が増えており、今

回においても補正予算対応で修理をする箇所がございます。今後は、施設の中心的な役割をしていますボイラーの更新事業を含め、大規模修繕計画により進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

インターチェンジ周辺整備構想（道の駅）につきましては、以前ご報告をさせていただきましたが、「地権者の理解が得られない」ことをお伝えしました。簡単には承諾はいただけない訳ではありますが、今年も連絡をさせていただいています。今後も根気よく交渉してまいりますので、ご承知おき下さい。

次に事業課関係ですが、事業予算をいただいています町道・林道等の工事は、概ね順調に発注しております。

簡易水道は中設楽浄水場導水ポンプ場の発電機室及び電気計装・自家発電設備の工事についてはまもなく発注する予定となっております。下水道につきましては、長寿命化計画に沿ってマンホールポンプ等異常通報装置の更新工事も同様です。修繕等も含め予定されています事業は順調に進めさせていけるものと考えています。農業集落排水事業については、最適整備構想（長寿命化計画）を本年度中に策定いたします。

町営住宅関係につきましては、社会資本整備総合交付金事業によ

り、大森住宅の修繕など計画的に改修を行ってまいります。

町営住宅の入居につきましては、現在の住宅が、現代のニーズには合わなくなってきたことから、空き状態もございますが、引き続き入居募集に努めてまいります。

最後に教育委員会関係について申し上げます。

学校教育関係では、中学校の電子黒板は2学期中に設置します。引き続き ICT の環境整備については、しっかりと検討してまいります。専門家の指導をいただきながら、ICT の活用ができる環境づくりを進めてまいりたいと考えています。そして、東栄中学校の技術室屋根及び渡り廊下塗装工事は、夏休み中を利用して工事を行っていますが、9月27日で完了予定です。

バスケットボール・三遠ネオフェニックスが昨年に引き続き、8月19日から20日に東栄グリーンハウスに宿泊し、サマーキャンプを実施していただきました。参加者は豊橋、豊川、田原、岡崎、浜松から小中学生が参加、地元の小学生も東栄中学校体育館でのバスケットボール教室に参加していただきました。今年で3年目を迎えますが、来年度も引き続きグリーンハウスを利用していただけるとのことですので、しっかりと応援していきたいと思っております。

て、星空おんがく祭の会場にもプロバスケットボール・三遠ネオフェニックスのブースを設けていただくこととなっています。

愛知大学との連携事業として毎年夏休みを利用して開催していますサマースクールを8月7日から9日までの3日間、産業会館をメイン会場として行われました。小学生78人が参加、愛知大学の学生16人が先生役として、事前準備から当日運営まで、真剣に取り組んでいただきました。保護者の方々にも大変好評をいただいています。来年度からは2日間となるかもしれませんが、引き続き開催してまいります。

小学校の運動会、中学校の体育大会も9月に開催を予定していますので、是非ご参加いただき応援等よろしく願いいたします。

10月13日土曜日には、グランパスサッカー教室が予定されています。

11月に開催する東栄フェスティバル、文化祭、町民芸能まつり、文化講演会などが予定されています。9月3日の議会全協でご案内をしておりますが、ご参加等よろしく願いいたします。

B&G体育館及びプールの工事発注が終わり、9月1日から2月28日の工期で進めてまいります。来年度には完成イベントを開催

する運びとなりますので、ご協力お願いいたします。

大変長くなりなりましたが、これで6月議会定例会以降の主な取り組みなどについて、ご報告させていただきました。

今回議会に上程いたします議案等につきましては、平成 29年度
の決算認定が 14 件、議案が9件、報告が 2 件でございます。合わせて 25件を上程いたしますので、よろしくご審議のほどをお願いいたします。

では各議案について簡略に説明いたします。

**認定案第1号平成 29年度一般会計歳入歳出決算認定から認定案
第 14 号平成 29年度国民健康保険東栄病院事業特別会計決算認定
について**ですが、ご配布いたしております業務報告書をご覧いただきたいと思っております。

一般会計は歳入総額が 32億2千579万8千円、歳出総額が 30億7千641万1千円、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた「実質収支」は1億318万5千円です。当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額を表す「単年度収支」は1億2千31

8万9千円の赤字となりました。なお、単年度収支に実質的な黒字要素である基金積立金及び地方債の繰り上げ償還金（今回はありません）を加え、実質的な赤字要素である積立金取り崩し額を引いた「実質単年度収支額」は1億2千979万4千円の赤字となりました。財政分析指標については、健全化判断比率の実質公債費比率は7.4ということで昨年度より1.1ポイント上がりましたが、将来負担比率は22.6で昨年度より4.8ポイント下がりました。地方債残高は特別会計と合わせて約49億8千137万5千円であります。前年度に比べ1億7千41万円の減となっています。経常収支比率は97.8%で、前年度と比較して5.1ポイント上がりました。引き続き経常的なものに充てられる一般財源の確保と経常経費の削減が今後の課題であります。

各特別会計につきましても、予算どおり執行でき問題はありませんでした。東栄病院会計につきましては、新医療センター施設整備基本構想・基本計画策定業務委託料に584万7千円、医療器械購入費に912万8千円、器具備品購入費に2千238万6千円、工事請負費は非常放送設備取替修繕工事を行い、110万5千円の支出額となっています。当年度純利益は263万3千円の黒字決算となっ

ています。

詳細については、決算特別委員会で各担当課長からご説明いたします。

議案第49号 東栄町町税条例等の一部改正については、地方税法等の一部改正にともない、おもに加熱式たばこの課税に関する規定及び住民税の給与所得控除、公的年金控除の引き下げと基礎控除の引き上げに関し改正するものです。

議案第50号 小型動力ポンプ付積載車物品売買契約については、東栄町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、契約締結の議決を求めるものです。

議案第51号 平成30年度一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4千410万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を37億9千992万3千円とするものです。

人件費につきましては、おもに4月1日付の人事異動によるもので、一般会計・特別会計あわせて871万6千円の減額です。

総務費の会計管理費では財務会計システム操作研修委託料として106万3千円を新規計上しました。

財産管理費では、本庁舎の暖房用ボイラーの更新とシュレッダーの修繕費として236万3千円を追加計上、旧園村役場解体工事費として439万8千円を新規計上しました。

企画費では、和太鼓絆プロジェクトの出演者輸送業務委託に17万8千円を新規計上しました。

町営バス運営対策費では、バスの修繕料として25万円を追加計上しました。

税務総務費では、コピー代と督促状用のはがき印刷費として18万円を追加計上しました。

民生費の社会福祉費では、医療センター等調整会議委員の報償費として11万円を新規に、コピー代として19万2千円を追加計上しました。

保育園費では、複写機の借上料として8万4千円を新規計上しました。

介護保険事業費の総務管理費では、東三河広域連合負担金として489万6千円を追加計上しました。

認定調査事業費では、調査員の人件費として17万2千円を追加、訪問調査委託料を20万円減額計上しました。

衛生費の保健衛生総務費では、国保東栄病院事業特別会計繰出金に392万4千円を追加計上しました。

環境衛生費では、役場倉庫の火災に係る火災残渣搬出処分委託料として318万6千円を追加計上、高濃度PCB及び低濃度PCBの運搬及び処分委託料として1千129万7千円、中設楽地区の臭気指数測定業務委託料として27万円を新規計上しました。

農林水産業費の農業総務費では、東菌目生活改善センター改修工事補助金として19万6千円を新規計上しました。

林道事業費では、林道橋梁点検業務委託料を450万円減額し、林道峯地線の改良工事に450万円を追加計上しました。

商工費の観光費では、地域おこし協力隊の活動に係る経費として12万9千円を追加計上しました。

地域振興費では、東栄フェスティバルに係る経費として19万1千円を追加計上しました。

温泉施設費では、施設の修繕料として335万円を追加計上しました。

土木費の土木総務費では、三遠南信自動車道佐久間道路の開通式典負担金として300万円を新規計上しました。

道路橋梁総務費では、大千瀬川改修公共補償に係る経費として20万円を追加計上しました。

急傾斜地対策事業費では、急傾斜対策事業に係る町の負担金として414万9千円を追加計上しました。

消防費の消防施設費では、消防詰所の修繕料として13万円を追加計上しました。

教育費の小学校費教育振興費では準要保護児童扶助費として23万5千円を追加計上しました。

災害復旧費の林道施設災害復旧費では、林道峯地線の災害復旧工事に600万円を追加計上しました。

諸支出金では、財政調整基金積立金に354万5千円を、住宅開発基金積立金に85万6千円を追加計上しました。

主な歳入については、国庫支出金で林道災害復旧費国庫負担金として359万9千円を、高齢者いきいき健康増進基金繰入金335万円を、諸収入の雑入648万2千円を増額しました。

繰越金は、今回の一般会計補正予算の財源調整のため、2千668

万6千円を増額しました。

町債については、臨時財政対策債の発行可能額の確定により159万2千円を増額、災害復旧債を240万円増額しました。

議案第52号 平成30年度国民健康保険特別会計補正予算は、
956万4千円を増額補正であります。主に、前年度の給付費精算による返納金です。

議案第53号 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算は、
18万4千円を増額補正であります。これは、保険料の還付金です。

議案第54号 平成30年度簡易水道特別会計補正予算は、7万4千円を増額補正であります。人事異動に係る人件費の増額です。

議案第55号 平成30年度公共下水道事業特別会計補正予算は、
179万円の減額補正であります。人事異動に係る人件費の減額です。

議案第56号 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算

は、4千円の増額補正であります。人事異動に係る人件費の増額です。

議案第57号 平成30年度国民健康保険東栄病院事業特別会計

補正予算は、収益的収支では、676万1千円の増額補正であります。人件費が581万8千円、経費が94万3千円の増額です。

資本的収支では、電子式診断用スパイロメーター更新に医療器械購入費として32万4千円を増額するものです。

報告第3号 平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率及び

資金不足比率については、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、報告するものです。

報告第4号 平成29年度東栄町公共下水道事業特別会計継続費

精算報告書については、継続費に係る継続年度が終了したため、地方自治法施行令第145条第2項の規定に基づき、平成28年度・29年度の東栄町特定環境保全公共下水道長寿命化計画策定事業にとも

なう継続費の精算報告を行うものです。

以上であります。が、詳細については副町長始め担当課長から説明をいたしますのでよろしくご審議のほどお願いいたします。